

平成 21 年度第 10 回 富合町合併特例区協議会

< 参 考 資 料 >

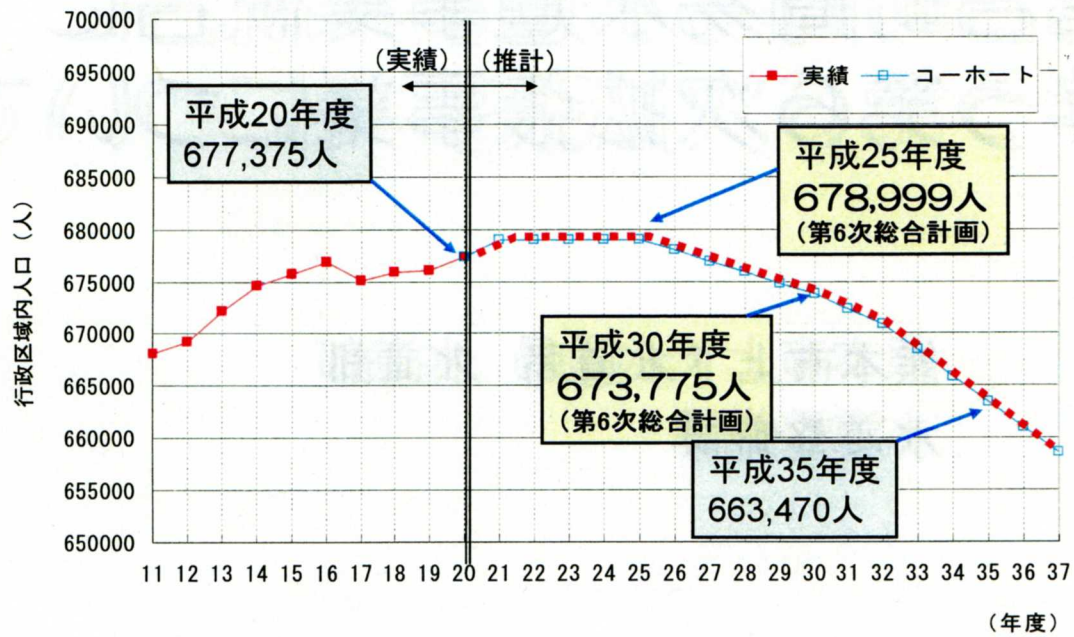
# 富合町簡易水道事業統合に伴う第6次拡張事業について

熊本市上下水道局 水道部  
水道整備課

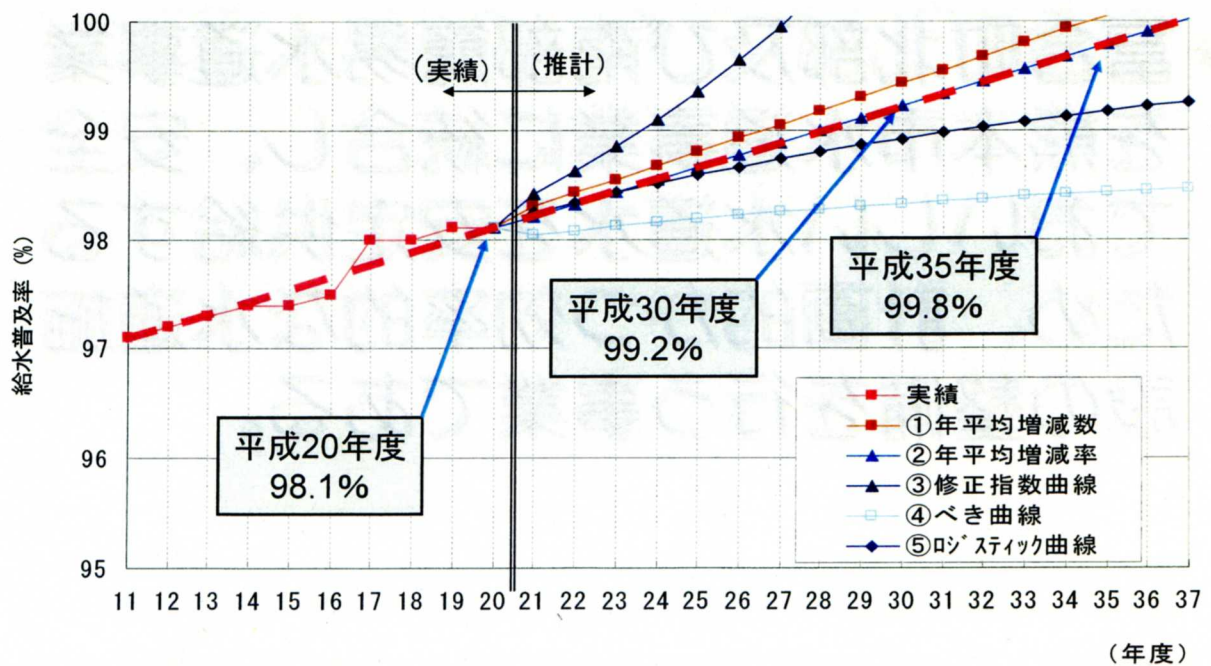
## 第6次拡張事業の目的

- 富合町北部及び南部簡易水道事業を熊本市水道事業に統合し、安全でおいしい水道水を安定供給するため、計画的かつ効率的な水道施設の整備を行う事業である。

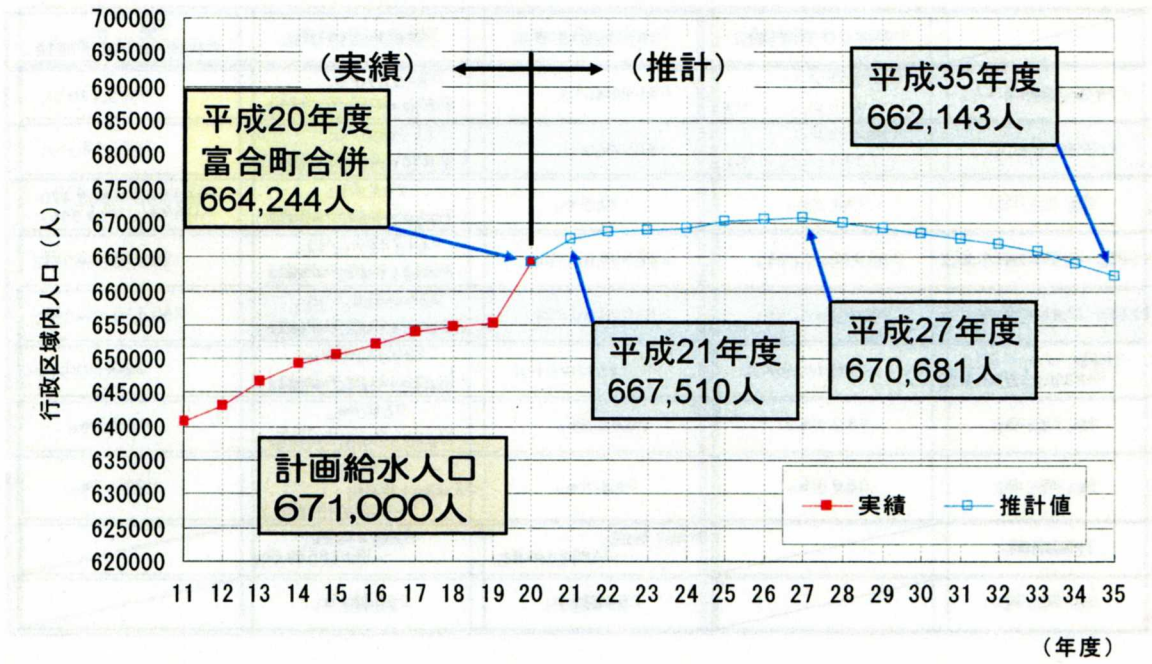
# 行政区域内人口予測



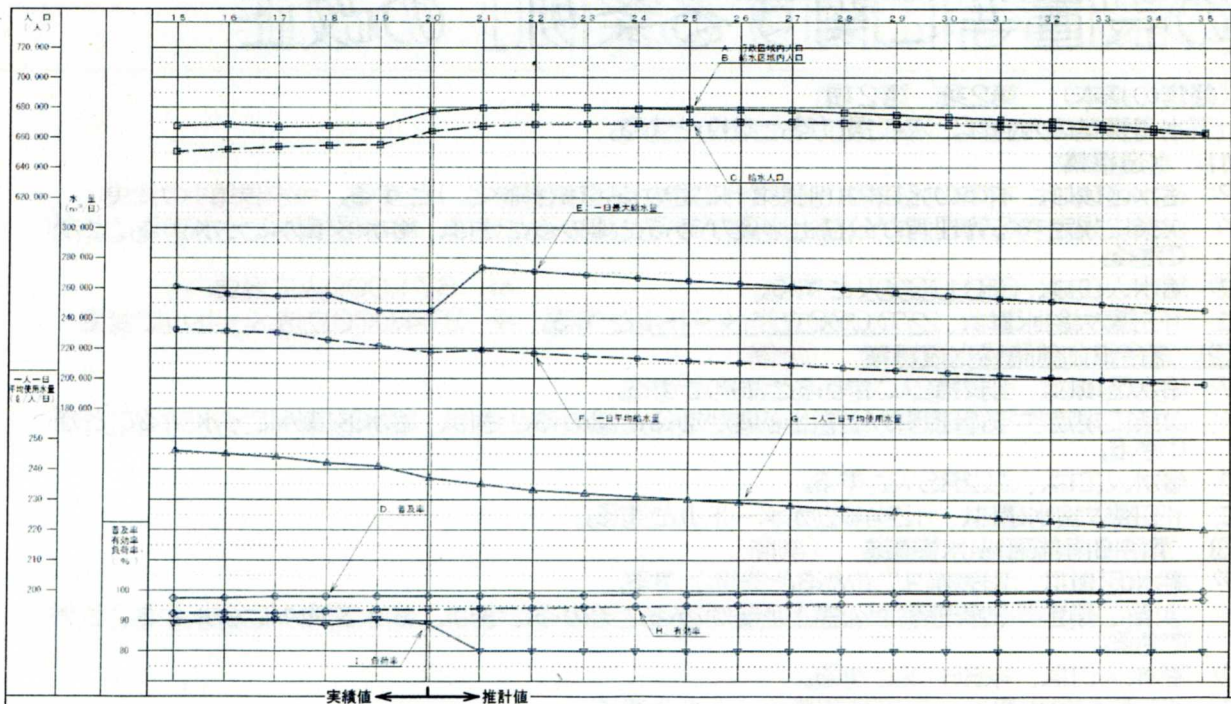
# 普及率の予測



# 計画給水人口の予測



# 水量及び人口予測のグラフ



# 主要指標

## 第6次拡張事業計画の主要指標

	平成20年度実績	第5次拡張事業	第6次拡張事業	備考 (平成35年度予測値)
行政区域内人口	677,375 人 ( 8,141 人 ) ※1	681,046 人	663,470 人 (平成35年度予測値)	663,470 人
計画給水人口	664,244 人 ( 7,711 人 ) ※1	681,000 人	671,000 人 (平成27年度予測値)	662,143 人
普及率	98.1 %	100 %	99.8 % (平成35年度予測値)	662,143 ÷ 663,470 = 0.998 (99.8%)
計画一日平均給水量	217,342 m <sup>3</sup> /日	227,388 m <sup>3</sup> /日	218,722 m <sup>3</sup> /日 (平成21年度予測値)	196,093 m <sup>3</sup> /日
計画一日最大給水量	244,493 m <sup>3</sup> /日	270,000 m <sup>3</sup> /日	274,000 m <sup>3</sup> /日 (平成21年度予測値)	245,116 m <sup>3</sup> /日
計画一人・一日 平均生活用水量	237 リットル	231 リットル	220 リットル (平成35年度予測値)	220 リットル
有効率	93.7 %	96.41 %	97.0 % (平成35年度予測値)	97.0 %
負荷率	88.9 %	84.2 %	80.0 % (平成21年度 ～平成35年度)	80.0 %
計画期間		平成7年度 ～平成28年度	平成22年度 ～平成35年度	
事業費		294億円	230億円	

※1の( )内数値は、富合町の人口である。

## 「熊本市水道事業等及び下水道事業の設置等に関する条例」の改正

(経営の基本) 第2条 第2項

上下水道事業の内容は、次に掲げるとおりとする。

(1) 水道事業

ア 給水区域は、本市の区域内(別表第1に定める区域を除く。)とする。⇒別表第1の変更

イ 次条に規定する管理者が公益上必要があると認めるときは、給水区域外に分水することができる。

ウ 給水人口は、681,000人とする。

⇒ 671,000人に変更

エ 1日最大給水量は、270,000立方メートルとする。⇒ 274,000立法メートルに変更

(2) 富合町北部簡易水道事業 (削除)

ア 給水区域は、別表第2に定めるとおりとする。

イ 次条に規定する管理者が公益上必要があると認めるときは、給水区域外に分水することができる。

ウ 給水人口は、3,285人とする。

エ 1日最大給水量は、1,244立方メートルとする。

(3) 富合町南部簡易水道事業 (削除)

ア 給水区域は、別表第3に定めるとおりとする。

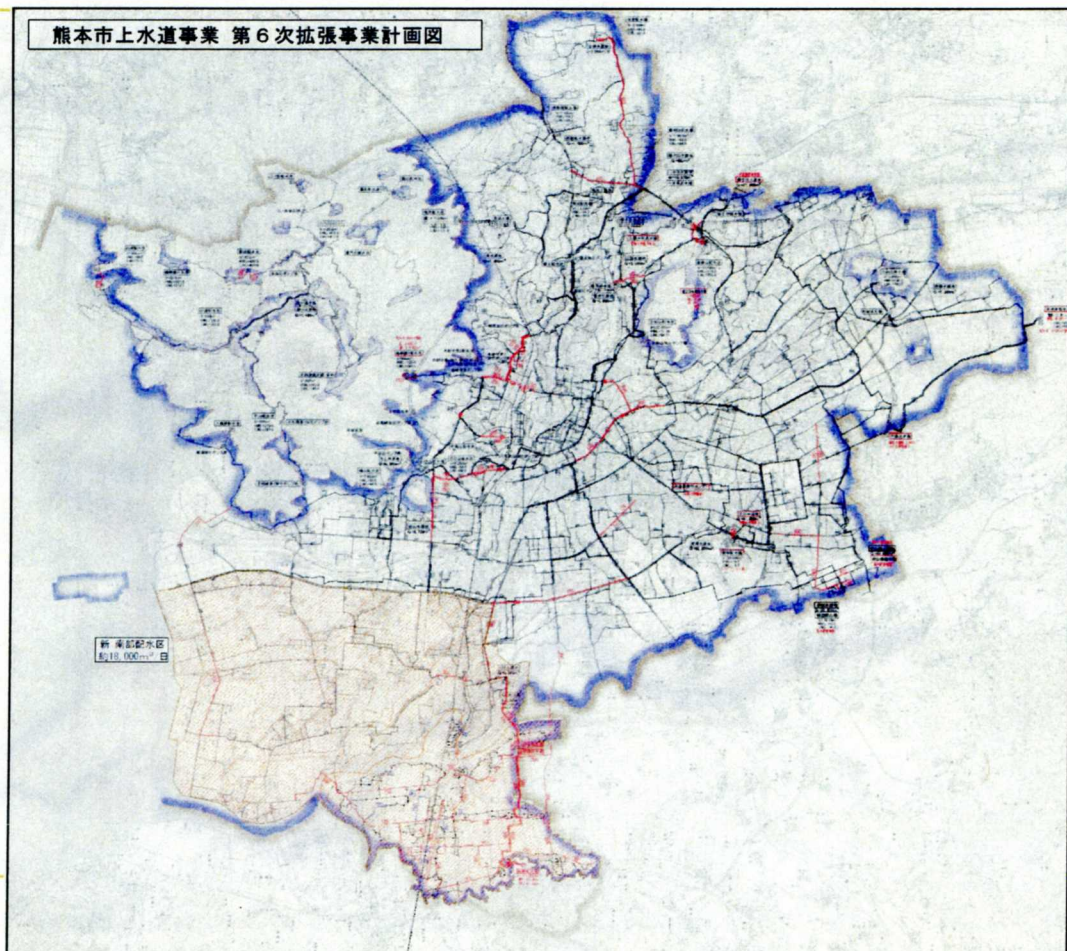
イ 次条に規定する管理者が公益上必要があると認めるときは、給水区域外に分水することができる。

ウ 給水人口は、4,661人とする。

エ 1日最大給水量は、2,056立方メートルとする。

# 事業内容（事業費約230億円）

1. 水道施設の機能強化
  - 取水・送水能力の強化
  - 水源地間の水融通管の整備
  - 適正水圧の確保
  - 各配水区間の水融通管の整備  
(基幹管路、配水支管の拡張)
2. 水のおいしさと安全性の向上
  - 水質管理の向上
  - 水道水の品質確保
3. 総合的危機管理システムの構築
  - 配水池容量の確保
  - 応急給水体制の整備
4. 環境への配慮
  - 環境負荷低減策の推進



## 南部配水区関連（約80億円）

○南部方面の配水区を自然流下系で新設  
（南部配水区）

区域：富合町及び川尻、力合、飽田、天明校区

面積：約5,600ha

人口：約44,000人

日量：約18,000m<sup>3</sup>

○配水池の新設（雁回山周辺）容量 約10,000m<sup>3</sup>

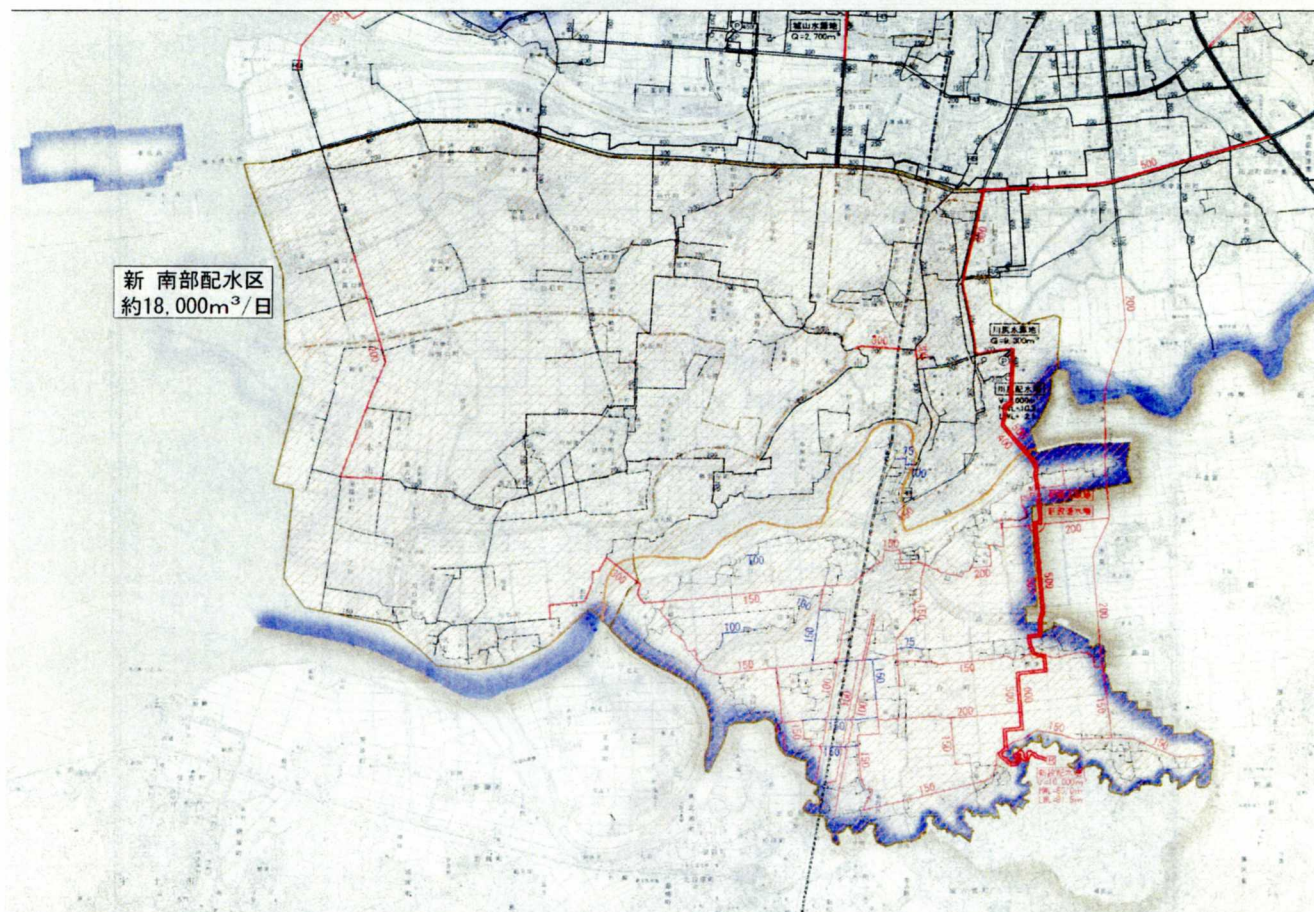
○送水場の新設 送水能力 約18,000m<sup>3</sup>/日

○水源井戸の新設

○水道管の整備（約46Km）

旧市内（健軍水源地）からの補給管の整備

富合地区の基幹管路となる連絡管整備など



熊本都市圏



旧富合町の簡易水道を上水道に統合する計画などを審議した熊本市議会環境水道委員会=市議会棟

旧富合町 上水道に

簡易水道統合 来年度にも着工

熊本市計画

熊本市は16日、旧富合町の簡易水道を市の上水道に統合、市南西部と合わせ「新南部配水区」として整備する計画を明らかにした。合併に伴う新市基本計画に基づく。市は開会中の12月定例会に関係条例の一部改正を提案しており、可決されれば、県の認可を経て2010年度にも着工する。

同日の環境水道委員会(田尻善裕委員長)で報告し、同委は改正案を全会一致で可決した。

計画は、市の上水道の第6次拡張事業(10年度)の一部。総事業費230億円のうち新南部配水区分は約80億円。雁回山周辺の標高85m付近に新配水池を建設する。送水場や総延長46kmの水道管なども新設。富合町域に新規で井戸も掘削し、健軍水源地などから送られる地下水と混ぜる。

(林田賢一郎)